

「オールドメディア」

今朝の産経新聞は発刊 1 万号とあった。

私は 4 年前に大動脈瘤の手術で入院する機会に
読売新聞を止めて、
以後、喫茶店でモーニングを頂きながら読んでいる。

産経新聞の社説でも
自らオールドメディアと自覚して
SNS などで発信される偽情報との違いや
視座を通して社説を貫いている
という事であった。

そして、次の 5 千号、1 万号に向けて展望を書いていた。

産経と読売の視座は「右」よりの保守系であり
朝日と毎日「左」よりの革新系と言われている。

産経は「正論」と評して、
一般的に伝統を重んじる立場を貫いている。

広い視野で見ると
アメリカよりか中国よりかと 2 分されるが
退潮気味の欧米よりも勢いを増す中国との関係となり
長期的に見れば「いずれも」全て「善し」と言えない。

世界平和を願うのは今も紛争している国々も同じだと思うが
それぞれの立場で「正義」を主張し合うので紛争で解決せず
軍事力による威圧を行なっていると言える。

私自身はアイデンティティを大事にして
伝統の天皇を象徴する民族主義を貫きたいが
しかし、現実の人口構成で労働力確保の面や
グローバル化の潮流にのった移民引き受けの方向性など
大きなトレンドに逆らえないと考えている。

大企業もグローバル化して多国籍化しており
日本企業であっても外国人がトップということが起こっており
国内生産を維持しながらも海外進出で成長している
という事実がある。

少し身近な視点に戻すと「衣食住」でも
「衣」はユニクロなどのように海外生産を基本とするようになり
「食」は海外で生産した冷凍食品が多くなって
「住」も必ずしも国内で生活する事が正しい選択とは言わない
と言う風になっている。

「オールドメディア」をテーマに書いているが
「メディア」だけではないと思っている。

例えば、「医学」でも西洋医学が主流になっているが
「漢方」の薬を調剤するようになっており
少しずつ身体全体的に治療する方向に向いて来ているように
より身体全体に目を向けるようになっている。

私自身は77才の後期高齢者になって、
しかも、妻に先立たれた一人生活の老人だが、
若い時に患った腎臓と付き合いながら元気に暮らしている
という具合だ。

つまり、腎臓に負担をかけないように食事に配慮して
胃腸を元気に維持しながら
ストレスを溜めずによく寝るように心掛けている。

腎臓自体は薬がないが、
腎性貧血でダーブロックというホルモン分泌を促す薬と
貧血を補う造血剤を服用しており
腎臓の数値 eGFR 値や鉄分の値を中心に管理されているが
やっぱり、体力による自己免疫力が大切だ
と思うようになっている。

医者の指導を受けながらも
毎日、明るく・元気に過ごせる環境を維持して
自宅と事務所が近いというインフラを活かした生活スタイルで
運動というベーシックな課題を克服して
「自炊」で腎臓に負荷をかけないように配慮して
好きな事に時間を使うようにしている。

そして、何よりも「睡眠」という「オールドメディア(?)」を
大切にして体力回復という基礎を維持して
「元気に、明るく」
を心掛けて行きたいと思っている。

産経の1万号から先を展望しているが
若い人にとっての未来像は私には想像もつかないが、
その未来でも「右」や「左」とお互いに主張し合って
それぞれの視座が健全であって欲しいと思うのだ。

私個人としては
若い人は視座を広く高く持ちながら、視野を広げ、目の前の視点を
SNS時代に生きるので情報を客観的に分析しながら
信じるところを進めて欲しいと思っている。